

2017年3月期 第1四半期決算説明会 質疑応答の要旨

問1. 2Qは市況及び荷量等の各種前提が改善方向に置かれていますが、利益水準が横ばいである理由を教えてください。

答1. 不定期専用船の収益計上は航海完了基準を採用しており、マーケットと収支の期ずれがある程度影響するため、市況の上昇効果は3Qに反映されると予想しています。燃料油価格及び為替の想定も収益に対しては悪化の影響を与える方向で見直しています。

問2. 下期の市況の見方を教えてください。

答2. 定期船事業では、北米航路は上期に運賃が想定以上に下落したため、積取を制限し消席率も低下しましたが、下期以降は運賃も安定し、積極的に貨物を取りに行くつもりでいます。欧州航路は期初の段階から運賃前提を堅く想定しておりましたが、その想定通りと考えています。また、中南米航路の市況上昇も見込んでいます。

不定期専用船事業のドライバルカー市況は期初に想定していた水準にまで戻ると見えています。自動車輸送台数は上期は新興国や資源国向けの輸送台数が想定以上に伸び悩みましたが、下期は前回予想並みの水準への回復を予想しています。

問3. 今年度、運賃安定型事業からの利益が減少するのにはどのような要因があるのでしょうか？

答3. 不定期専用船事業において、足下のドライバルカー市況が低迷している中、運賃の更改時期が当期にあたった長期契約の一部において利益率の低下が見られ、また、自動車輸送台数が減少しました。LNG 船において昨年度に計上した一過性の利益が今期はないことも要因の一つです。

以上